

全国連盟通信

第32期 No.4
2016年12月22日
発行責任者
石川正三



新日本スポーツ連盟

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2 大住ビル402

TEL: 03-3986-5401 FAX: 03-3986-5403

Eメール: zenkoku@njsf.net URL http://www.njsf.net

つなごう 支援の輪

「オールジャパン」で スポーツの共同にチャレンジしよう!!!

2011年に公布されたスポーツ基本法第2条はこの法律の基本理念として、「スポーツは、これを通じて幸福で豊かな生活を営むことが人々の権利である」ことを明記し、以下第4条、5条、6条で、国、地方公共団体、スポーツ団体などは、この第2条の「基本理念にのっとり」施策の執行や活動を推進することを明示しています。

そして、第7条では、「国、独立行政法人、地方公共団体、学校、スポーツ団体及び民間事業者その他の関係者は、基本理念の実現をはかるため、相互に連携をはかりながら協働するよう努めなければならない」と述べています。

一言でいえば、わが国のスポーツに関わる行政、スポーツ団体、スポーツクラブ、スポーツ競技者・愛好者は、スポーツ権の理念実現のために「オールジャパン」で共同してスポーツを発展させようと述べているのです。

各種目で新しい変化と発展の芽

第31回全国スポーツ祭典は、卓球の年代別大会、スキー競技大会を残すのみとなりました。各全国種目組織、都道府県連盟の皆さんの奮闘で、新しい変化と発展の芽が生まれています。



ソフトボール大会は、岐阜県可児市ソフトボール協会とスポーツ連盟ソフトボール協議会がはじめて「共催」事業として実施し、質の高い大会となり参加チームから歓迎されました。



バレーボールのブロック予選会に参加した新潟県長岡市のバレーボール協会の役員さんは、次の県予選は新潟県独自の予選会として開催するために全面的に協力すると述べていたとのこと。

卓球大会では、昨年全日本選手権第2位の選手が団体戦に出場し、対戦した選手はもちろん選手達からレベルの高い大会として一層の期待が高まっています。まだまだ部分的ですが、スポーツ連盟と体育協会・競技団体との「壁」は確実に崩壊しつつあります。

楽しく質の高いスポーツ活動を

愛好者、競技者の要求に寄り添い、文字通り「オールジャパン」で共同し、楽しく質の高いスポーツ活動を広げ、権利としてのスポーツを実現するために大いに力を尽くそうではありませんか。こうした活動の前進のなかでこそ、2020東京オリンピック・パラリンピックの成功が保障されます。2017年はその正念場と考え新たな決意で望みたいと思います。

(全国連盟会長 和食昭夫)

第3回理事会報告

2016年12月10日(土) 12:00 ~ 18:00
スカイプ会議(パソコンによる音声・映像通話)

第32期第3回理事会は、2017年2月の32期第1回評議員会を展望し、2016年度の活動の整理と2017年度の活動計画をはじめ、重点課題の「連盟組織の飛躍的な前進」と『スポーツのひろば』を引き続き増やす活動などの検討を目的に開催されました。今回、東京のスポーツ連盟事務所をメイン会場に直前の三役会議を含め、大阪・福岡・愛知の各連盟事務所および理事の自宅1カ所をスカイプ(パソコンによる音声・映像通話)でつないで会議を実施。出席は、理事21名と会長・副会長2名でした。

開会あいさつで和食会長は「組織強化に力点を置いてこれからの1年にしていきたい」と語り、石川理事長からは「もっと組織的な前進があってもいいのではないか」という内容の提起文書が出されました。ここでは、2017年6月に予定されている組織拡大交流会議に向けて、意見交換を行いました。

閉会あいさつで石川理事長は「日々の大会運営や組織運営が刻々と迫ってきますが、変化がある時代なのでこういう時に後ろ向きではなくどういうふうなありかたがいいのかを是非いろんなところで論議をしてほしい」と結びました。

なお、今回のスカイプ会議は、音声を頼りにディスプレイ画面を見る労力を要するため、今までの2日間開催を大幅短縮した初めての方法でした。大阪事務所からの音声が出ない問題も発生し、事務所間の固定電話で発言をするという対応をしました。このスカイプ会議は、常に使える状態にするのは非常

に難しく、今後どういうふうに安定したスカイプ会議ができるか、こういう機会がどれだけ作れるかは大事なことで、検討課題となりました。

【主な確認事項】

①全国スポーツ祭典

・第32回(2018年)は、東北・北海道ブロックで開催することを最終確認しました。東北・北海道ブロックで開催不可能な種目は全国種目組織の協力を得て他の都府県で開催することとします。なお祭典事務局は岩手県連盟で担います。

・第33回(2020年)は、関東ブロックで開催します。

②反核平和マラソン

・2020年の反核平和マラソンの構想を2017年1月開催予定の局会議で案をまとめます。

③「スポーツのひろば」

・連盟関係者、読者が参加できような誌面にしていきます。

④専従者就業規則の改定

・休職の取り扱いを追記しました。

※私儀、5月に癌手術を受け、2016年8月から2日に1回のペースで事務所勤務を続けています。皆様方のご支援と激励に深く感謝を申し上げます。胃全摘の後遺症により、長時間の労働と移動および会食ができませんが、今後ともよろしくお願い致します。

(全国事務局・福島邦夫)

第32期 第1回評議員会のお知らせ

日時・会場

2017年2月11日(土) 14時00分～18時30分
2月12日(日) 10時00分～16時00分

東板橋体育館 第1会議室

生活産業プラザ(ECOとしま) 8F多目的ホール

予定議題(順不同)

- (1) 第32回全国総会後の活動と2017年度の重点方針案
- (2) 各全国種目組織、都道府県連盟の活動報告
- (3) 第31回全国スポーツ祭典の中間総括
- (4) 新日本スポーツ連盟附属スポーツ科学研究所の活動報告
- (5) 2016年度決算と監査報告、2017年度予算
- (6) その他

出席対象：①評議員 ②理事 ③会長、副会長 ④監事

評議員会は、総会に次ぐ決議機関であり、理事会が提案する議案を審議し決定する役割をもつものです。

今回の評議員会は、2016年3月の第32回全国総会後の活動の総括と2017年度の重点方針と計画を検討し、決定するための会議となります。

なお、評議員は「各連盟組織の代表」としての性格を持っていますので、本人が出席できない場合は、必ず「代理出席」の手配を行なってください。



●東北・九州復興支援大会として

第31回全国スポーツ祭典は、東日本大震災から5年経過し復興も道半ば、そして4月に発生した熊本地方を震源とする地震の早期復興を願い、「東北・九州復興支援」の一環として取り組んでいます。

今祭典では11月に東北地方・宮城県で水泳競技とサッカー競技(シニア)が開催されました。大会も残すところ、卓球競技(年代別)とスキー競技の2大会になりました。

●全国祭典のひろがり

現在、参加状況を調査中ですが、ミックスバレーボール大会(写真①)では連盟組織のない福島県いわき市で、地元チームが実行委員会をつくって大会を開き代表チームが出場したり(写真②)と、スポーツ連盟の組織がない都道府県から全国大会に出場するチームや選手が増えてきています。こうしたチームに対して、今後どう協力関係等をアプローチして

いくかが課題です。

●会場に足を運んで感じたこと

今祭典は関西ブロック主管で開催されたこともあり多くの大会に出向きました。6人制男子バレーボール大会では、三重県の国体強化指定チーム(写真③)が出場し競技レベルの高さが際立ちました。軟式野球大会での開会式では、地元の高校の吹奏楽部(写真④)とバトン部が参加してくださり大会に華を添えてくれました。テニス大会(写真⑤)や卓球大会(一般)では、選手層や技術が高くなっているので初戦から苦戦する人も多くなりハイレベルな試合が多かったです。

サッカー大会(一般)(写真⑥)では、2日間とも絶好の好天に恵まれ、芝生も最高の状態で試合をしていました。対戦後の両チーム交えての記念写真を撮影したりと和気あいあいとした雰囲気印象的でした。(第31回全国スポーツ祭典実行委員会 関戸弘充)

第31回全国スポーツ祭典

復興支援グッズ 「シリコンバンド」

大会・行事の参加賞や記念品などに採用して、祭典アピールと復興支援を呼びかけましょう！

※各組織に1個当たり200円で引渡をします



収益金を全て東北・九州で開催される全国スポーツ祭典並びに予選会の大会費用の一部負担金として充当します。

ご注文・
問い合わせは
こちら

新日本スポーツ連盟大阪府連盟

TEL 06-6942-4751

FAX 06-6942-4753

Eメール office@osaka-sports.net

本格的な組織の前進には **すべてのつながりで加盟の呼びかけ**を

新日本スポーツ連盟は、2006年の第27回定期総会で“10万の組織”を目標にしています。しかし、その実現に向けた個々の取り組みはあるものの、スポーツ連盟全体の大きな流れになりきれていません。

一方で、第32回全国総会の論議やこれまでの全国会議の中では、「前進面」と「課題」の両面が現れていることが出されています。各地、各種目で頑張っている方々の頑張りが組織拡大という前進になるためには「スポーツ権の時代」にふさわしい「組織拡大の方針」と「前進面と課題、個々の具体的な実行計画」について率直な論議が必要になっています。

1、第32回全国総会とそれ以降の前進面

・「**スポーツ基本法**」成立(2011年6月)は、スポーツ連盟創立50年間の取り組みの結果ともいえる大きな前進。3月の全国総会でのJOCの来賓あいさつやスポーツ庁からのメッセージは、スポーツ連盟のこれまでの活動が認知され、評価を示しています。

・**2020東京オリンピック開催**にあたって、「2020東京オリンピック・パラリンピックを考える都民の会」の構成団体として、東京都と組織委員会はもちろんIOCとの面談・要請、7回の提言討論会で具体的改善案を提起し、既存施設の活用、経費の節減など持続可能な五輪とするために貢献しています。

・**全国スポーツ祭典ソフトボール大会**における可児市の後援と可児市ソフトボール協会との「共催」は、他のソフトボール関係者との共同の可能性が広がりました。

・**バレーボール**では新潟・長岡市で、市のバレーボール協会役員が「スポーツ連盟の大会を新潟で開催を。協力したい」と協力の発言が。新潟県独自の予選大会実施の可能性が生まれています。

・**全国卓球協**の持続的な「出前大会」の開催を通して、クラブ・愛好者とのつながりと協力で、あらたに三重県と宮崎県で卓球協議会が確立し、意欲的に活動。

・**バスケットボール種目**での活動改善と組織化のために「バスケットプロジェクト」の活動が開始され、愛知県バスケットボール協会と兵庫県連盟の協力で、兵庫県大会を成功させました。その後、京都から参加したチームと京都府連盟の「バスケット懇談会」が開催され、協力して大会開催に前進。



バスケットPJが中心となって準備した全国祭典バスケットボール大会(兵庫)では、8都府県16チームが熱戦

・第32回定期総会では、全国種目組織と全国連盟の一体感のある活動を強化するために、「全国種目組織との懇談」を方針化・第1回として全国野球協との懇談が行われ、引き続き他の種目との懇談をすすめます。

2、課題

・**全国連盟の財政状況**は、労山の「賛助団体」への移行にともなう分担金収入の大幅な減少により、2人の専従者の維持が困難な状況になっています。このことから会員が支えていることが裏付けられ、会員拡大が早急に求められています。

・**宮城県連盟、三重県連盟**では、県野球協からの県連盟分担金が納入されずに推移しています。組織的な協力関係の回復と分担金納入の正常化を図ることが求められています。また、福岡県連盟の分担金のうち、県野球協の分は、10月から「納入会費をこれまでの1/3と登録」としています。こうした分担金のあり方についても整理が必要です。

・**卓球協の出前大会**は組織づくりに大きく貢献しています。同時に、出前大会開催には、多くの経費と役員の手配によって支えられています。その点で、協力者への加盟呼びかけがされていなかったり、躊躇している面も見られます。

以上の内容以外にも各種目、各地いろんな事象があります。まわりのスポーツクラブや愛好者の活動状況をよく把握し、大会運営と組織拡大を同時に追求することが求められています。呼びかけなければ始まりません。(全国連盟理事長・石川正三)

フランスベテラン卓球大会に出場&全員入賞！

卓球代表団がフランス FSGT で交流



◀スポーツ連盟代表団 写真右から

団長 鈴木義弘さん(全国卓球協議会運営委員長)
竹中みつ子さん(三重県卓球協議会理事)
目黒量子さん(全国卓球協議会副運営委員長)
宮島政樹さん(北海道卓球協議会事務局長)
岩本英さん(全国卓球協議会事務局長)



ジャントン・パルトネー市長と



優勝した宮島国際ペア



清水 日本総領事(左)と



青少年たちと交流



男子選手に健闘 竹中さん



FSGTのホームページに掲載された



表彰台で



2015年11月に起きた同時多発テロ跡地の公園「PLACE DE LA LIBERTE」でジルベールFSGT卓球部門代表は「ここに一番連れてきたかった」と語った。

2016年10月26日から11月4日、FSGT(フランス勤労者スポーツ・体操連盟)の招待を受け、新日本スポーツ連盟の卓球代表団5名が訪仏しました。

パルトネーという地方都市で行われている全国青少年研修会に参加。翌日から2日間、FSGTベテラン・フランス選手権大会に出場。全員表彰台にのることができました。夕方市長と懇談。その後、ドイツとの国境近くの美しい町ストラズブールに移動し、FSGT総合スポーツクラブを訪問。在ストラズブール日本国総領事との面談もありました。

※フランスベテラン大会FSGT交流記は、「スポーツのひろば」2017年1・2月号を参照

【代表団のひとこと感想】

- 人を生活を、歴史を大切にできる暖かい歓迎は私の生き方を変える出来事でした。(鈴木)
- スポーツ連盟でも海外で卓球大会ができればと思います。加盟クラブ大会inフランスなどどうでしょう。(目黒)
- フランスの歴史を学び、人の温かさを知り、人生を楽しむことを教えられました。(宮島)
- 豊かな国土と福祉にささえられフランス人は朗らかでとても友好的でした。(竹中)
- 表彰式には多くの人が残りで盛大でした。日本から来たということもあって、私たちは一段と大きな拍手を頂いた。ほんとにうれしかったなあ。(岩本)

平和マラソンに全国で2000名が参加

2016年反核・平和マラソン実施一覧

北海道	9月11日	ランナー 73名、ウォーキング54名、サポーター 25名
宮城	7月17日	ランナー 20名、サポーター 10名
福島	11月3日	ランナー 33名、サポーター 17名
千葉	7月10日	ランナー 15名、サポーター 5名
東京	7月2日, 17日	ランナー 45名、サポーター 40名、ウォーキング15名
神奈川	7月23日～24日	ランナー 84名、サポーター 57名
富山	6月18日	ランナー 11名
石川	6月18日, 24日, 8月7日	ランナー 11名、サポーター 8名
福井	6月24日	ランナー 4名
愛知	8月7日	ランナー 10名
	12月11日	ランナー 300名
三重	7月3日	ランナー 15名、ウォーキング22名、サポーター 10名
滋賀	8月6日	ランナー 12名、総数52名(ウォーキング、ライダー、サイクリング含む)
京都	6月19日	ランナー 23名、サポーター 11名
大阪	7月3日	ランナー 150名、サポーター 50名
兵庫	7月10日	ランナー 46名、サポーター 10名
和歌山	5月8日, 22日	ランナー 34名
	7月3日	ランナー 140名
広島	8月5日	碑めぐり(19名) 反核平和マラソン交流のタベ (29名)
	8月6日	広島城公園 反核平和マラソン&ウォーキング (56名)
	8月7日	「似島」ピースウォーキング (16名)
	8月7日	平和大好き卓球大会(中区スポーツセンター) (174名)
北九州市	7月24日	総数15名
広島～長崎	8月6日～8日	ランナー 330名、サポーター 60名



愛知・高蔵寺弾薬庫一周平和マラソン(上)
福島・郡山ピースマラソン(下)

2016年反核・平和マラソンがすべて終了しました。今回は、19地域で実施され、トータルでランナー 1371名、ウォーキング163名、サポーター 303名、その他262名の総数2099名が参加しました。引き続き、平和をアピールする運動を広げていきましょう。

バックナンバー「ひろば」無料宣伝誌あります！



現在 **2413** 部

2016年3月の全国総会以降、『スポーツのひろば』の読者数は横ばいの状態が続き、普及活動が停滞気味となっています。ぜひ「スポーツのひろば」の知名度アップのため、宣伝誌(バックナンバー)の積極的な活用にご協力ください。近くの人に購読を勧める、各大会で配布する、キャプテン会議で宣伝するなど、自由に使ってください。

※100部程度ならすぐ送付できます。(広報局 佐藤信樹)

各地の情報を投稿してください

hiroba@njsf.net

スポーツ連盟の行事レポート、写真、大会情報、大会記録、近況、いま考えていること…など何でもOKですので是非記事を送ってください。



「オリパラ都民の会」の要求が現実

2020東京五輪会場 整備計画の変更と費用の変遷

〔新〕は新設 〔改〕は改修 〔仮〕は仮設会場 〔既〕は既存施設

会場(種目)	立候補時 2013年1月	再検討時 2014年5月	再検討後 2014年11月	2016年 12月現在	計画変更後の施設
〔新〕アクアティックスセンター(水泳)	321億円	683億円 ⇒	683億円	514-529億円	
〔新〕海の森水上競技場(ボート)	69億円	1038億円 ⇒	491億円	298億円	
〔新〕有明アリーナ(バレー)	176億円	404億円 ⇒	404億円	339億円	
〔新〕夢の島ユースプラザA(バスケ)	364億円	880億円 ⇒	整備費なし		変更 → 〔既〕埼玉スーパーアリーナ
〔新〕夢の島ユースプラザB(バドミントン)					変更 → 〔新〕武蔵野の森総合スポーツ施設
〔新〕若洲オリンピックマリーナ(ヨット)	92億円	414億円 ⇒	整備費なし		変更 → 〔既〕江の島ヨットハーバー
〔新〕葛西臨海公園(カヌー)	24億円	73億円 ⇒	73億円		変更 → 〔新〕隣接都有地(水道局)
〔改〕有明テニスの森(テニス)	59億円	144億円 ⇒	144億円		※大会後にコート14面復活
〔新〕大井中央海浜公園(ホッケー)	25億円	48億円 ⇒	48億円		※レイアウト変更(野球場を残す)
〔新〕夢の島公園(アーチェリー)	14億円				※レイアウト変更(樹木を残す)
〔仮〕夢の島陸上競技場&野球場(馬術)	20億円		整備費なし		変更 → 〔既〕馬事公苑
〔仮〕ウォーターポロアリーナ(水球)	76億円		整備費なし		変更 → 〔既〕辰巳国際水泳場
〔仮〕有明ペロドローム(自転車)	65億円		整備費なし		変更 → 〔既〕伊豆サイクルセンター

2020年の五輪・パラリンピックの開催は、もともとトップダウンで指導した経緯があり、開催決定にまつわる裏金問題に始まって、決定後にもエンブレムデザインの盗作問題、メインスタジアム整備や選手村整備に群がる大手ゼネコンの利権争い等々、都民、国民の民意無視の開催準備にあきれざるばかりの事態が続いています。

スポーツ連盟は、これまで「2020五輪・パラリンピックを考える都民の会」という市民団体の中心になって活動を続けてきましたが、競技場整備については、いくつかの成果が表れていることに確信を持っています。五輪だからと言って、公共スポーツ施設を簡単に壊してしまう計画や、自然環境を壊してしまう計画に反対して、大会組織委員会や東京都に要請を繰り返してきました。結果として、公共のスポーツ施設を守る計画変更が行われたことや自然環境をまもった実績は、高く評価されています。

さて、今一番問題になっているのは、大会経費問題です。立候補時点では、大会経費は、7340億円と試算されていました。東京都は4000億円すでに基金と



←ホッケー会場整備で廃止される計画だった大井中央海浜公園・野球場(6面)は残されることになった。

→カヌー会場に予定されていた葛西臨海公園。自然環境保全のため反対運動が起こり、隣接の都有地に変更された。



して持っているし、チケット収入やスポンサー収入を5000億円とすれば、赤字にならない計算をしていたものが、12月21日には、1兆8000億円と公表されました。約8000億円が赤字になることとなります。

「オリパラ都民の会」は、大会経費の詳細を都民に公表することを要請しているところですが、都民は、そんな内容を知る由もありません。

これからも、都民や国民の代表として、スポーツ連盟は「オリパラ都民の会」の中心になって活躍します。(スポーツ権・平和運動局 萩原純一)

第32期全国会議及び主要事業予定一覧 (2017年1月～2018年3月)

【2017年】

1月	8日	全国縦断新春マラソン (神奈川、愛知、滋賀、大阪、兵庫、福岡)	
	16日	労山定期協議	
	28～29日	全国スポーツ祭典卓球大会年代別 (石川)	
2月	1日	「スポーツのひろば」3月号発行	
	11～12日	32期第1回評議員会・第4回理事会	
3月	3日	「スポーツのひろば」4月号発行	
	4～5日	全国スポーツ祭典スキー競技大会 (戸狩)	
	5日		全国サッカー協議会総会
	18日		東京都連盟総会、50周年記念レセプション
4月	3日	「スポーツのひろば」5月号発行	
	8～9日	32期第5回理事会	
5月	1日	「スポーツのひろば」6月号発行	
6月	5日	「スポーツのひろば」7・8月号発行	
	18日		三重県連盟総会
		全国組織拡大交流集会 (予定)	
7月			
8月	1日	「スポーツのひろば」9月号発行	
	26～27日	32期第6回理事会	
9月	1日	「スポーツのひろば」10月号発行	
	10日	東海ブロックスポーツセミナー	
10月	2日	「スポーツのひろば」11月号発行	
11月	1日	「スポーツのひろば」12月号発行	
12月	9～10日	32期第7回理事会	
【2018年】			
1月	10～11日	全国縦断新春マラソン	
2月		32期第2回評議員会・第8回理事会	
3月	10～11日	33回定期全国総会	

* 追加・訂正があれば全国事務局まで随時ご連絡ください。

アルバイト職員の公募

新日本スポーツ連盟全国連盟で、アルバイト職員の欠員が生じたためスタッフを公募します。新日本スポーツ連盟の活動を支える仕事をしていただける意欲のある方の応募をお待ちしています。応募される場合には、全国連盟までお問い合わせください。TEL 03-3986-5401

公募期間
2017年1月末まで

会計事務の
経験がある方歓迎



新日本スポーツ連盟附属スポーツ科学研究所 年報

「現代スポーツ研究」Vol. 1

が発行されました

主な内容

<巻頭言>スポーツ科学研究所所長 山崎健

<特集>2020年東京オリンピック・パラリンピックが市民に残すものは何か

<論考>生涯スポーツ振興の基礎としてのスポーツ施設の供給・利用に関する一考察
:脱商品化の視点から 東京女子体育大学 笹生心太
ほか

お問い合わせはスポーツ科学研究所まで MAIL:science@njsf.net